

浮金小だより



発行：平成30年6月8日（金）

文責：浮金小学校長 松崎 健一

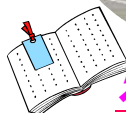
運動会大成功！！

5月19日に運動会を実施しました。当日の早朝まで雨が降って校庭に水たまりがいくつもありましたが、保護者の方や消防団、青年団の方が必死に水取りをし校庭を整備してくださいました。お陰様で天気も回復し、たくさんの鯉のぼりが泳ぐ中、子どもたちは元気いっぱい最後まで演技することができました。

また、運営にあたり、婦人会をはじめ、交通安全母の会、若葉会、消防団、青年団、浮金つづじ児童園の皆様にご協力いただきました。演技ばかりではなく各係となって運動会を盛り上げ支えていただきましたことに感謝申し上げます。



ドローンを飛ばしての記念撮影も行いました。



本に触れ心を豊かに・・・

小野町では読書活動に力を入れており、いろいろと学校支援をいただいています。



5月10日には、文化の館より西牧さんが来校し、「おはなし会」を実施しました。絵本の読み聞かせ、民話の語り、手遊び歌など子どもたちにとってとても楽しい時間となりました。

5月24日には、文化の館より移動図書館がやってきました。学校図書にはない様々な分野の本を持ってきてくださるので子どもたちは本選びに夢中になります。

どちらも年に数回予定されています。子どもたちの心の栄養として、学校でも大いに活用していきます。



防犯教室～もし不審者に声をかけられたら～

5月30日に、飯豊駐在所の坂口さんを講師に迎え、不審者と出くわしたときにどう対応するのかの学習をしました。登校班での登下校中を想定し、道を尋ねながら同乗するよう声をかけるパターンと、カメラを手にした大人の2人組が記念写真を撮ろうと声をかけてきたパターンで実施しました。どこまで話を聞いて答えればよいのか、どのタイミングで笛を吹いてよいのか、下の学年の子をどう誘導すればいいのかなどなど・・・、その場の状況によって判断が変わるのでとても難しいと思います。坂口さんからは次のような指導をいただきました。



① 話をする際には逃げられる距離をとる。

② いざというときには「笛を吹く」「ブザーを鳴らす」「大声を出す」「近くの民家に逃げ込む」など実際に行動できるようにする。

高柴山遠足



本校の伝統行事である高柴山遠足を、6月1日に実施しました。風がやや強く吹く中ではありましたが、頂上では青空も広がりとても爽やかな気持ちになりました。

1年生にとってはきつい遠足になるかと予想していましたが、弱音も吐かず最後まで頑張り、今年も全児童が怪我もなく歩き通すことができました。それができたのも、下の写真のような姿がどの縦割班でも見られたからです。3つ目的である「自然を感じる」「粘り強く最後まで歩く」「協力・助け合い」が達成できました。美しい自然の中で、子どもたちが輝いて見えました。



優しく激励し



タオルでつながり



手をつなぎ元気を



2つもリュックを背負って

地域の方に学んでいます

5月は、学習の場を地域に求め校外学習をたくさん行いました。治助ファミリーショップ、古川工務店、菅布禰神社、月叟寺、浮金つづじ児童園へ、低中学年の子もたちが生活科や社会科の学習として出かけました。子どもたちの質問等に快く応えていただきありがとうございました。また、2年生のサツマイモ畑作りでは、石井勝利さんと和泉三郎さんにご協力いただきました。モグラ対策までしてもらいました。ありがとうございました。

今後も地域の方々にご指導いただきたいことが出てくると思いますが、どうぞよろしく願いいたします。



工事現場で働く車を紹介していただきました。たくさんありました。



地域の神社やお寺に入れていただき、じっくりとお話を聞かせていただきました。



風車の振動が地中に伝わるとモグラがよって来なくなるそうです。



自分たちが考えた3つのレクリエーションで園児とのふれあいました。自信たっぷりの表情で園児の前に立ち頑張っていました。

お店についてたくさん質問してきました。買い物体験もしました。



校長室より ~高柴山遠足~

養護教諭の横山先生から「私も小学生の時、高柴山に遠足に行きました。辛かったんですけど手をつないでもらうと、なぜか元気が出るんですね。」と。今年の遠足でも、上学年児童が下学年児童の手を引っ張って歩くシーンがたくさんありました。いや、よく見ると引っ張るのではなく手をつないで歩いていました。その手の温もりが頑張ろうとするエネルギーになるんだと思います。

遠足の帰り道です。1年生担任の石井先生と2年生の女の子が手をつないで歩いていました。私は学校に戻ってから、石井先生に「2年生のお世話ありがとうございました。」と声をかけると、「ちがうんです。私が疲れた表情をしていたところに、女の子が来てくれて手を差し伸べてくれたんです。」と。

協力し助け合う姿がたくさん見られた、気持ちの良い遠足でした。これが、浮金小の伝統行事なんだと、改めて感じる事ができました。